

パ ン デ ミ ック と 文 明

感染症と向き合う
過去から未来へ

岡山大学
文明動態学研究所
キックオフ・シンポジウム

2021年
4月14日(水) 14:00~

岡山大学 創立五十周年記念館(金光ホール)
+ オンライン 参加費無料 *定員100名(先着順)
*オンラインの定員はありません。

Speakers

山本太郎(長崎大学 熱帯医学研究所)
今津勝紀(岡山大学 文明動態学研究所)
松岡弘之(岡山大学 社会文化科学研究科)
松本直子(岡山大学 文明動態学研究所)
司会=中谷文美(岡山大学 文明動態学研究所)

主催:岡山大学 文明動態学研究所

ridc.okayama-u.ac.jp

共催:新学術領域研究「出ユーラシアの統合的人類史学」

out-of-eurasia.jp



パンデミックと文明

— 感染症と向き合う過去から未来へ —

2021年4月14日(水) 14:00~17:00

岡山大学 創立五十周年記念館(金光ホール)

+ オンライン 参加費無料 *定員100名(先着順)
*オンラインの定員はありません。

主催:岡山大学 文明動態学研究所 共催:新学術領域研究「出ユーラシアの統合的人類史学」

文明の誕生以来、感染症と人類は切っても切れない関係となった。幾度となく繰り返されるパンデミックは、多くの死者を出し、社会の基盤を揺さぶり、分断や差別も生み出したが、大きな社会変革の契機ともなってきた。世界的な新型コロナウイルスのパンデミックの渦中で、私たちはどこへ向かえばよいのか。文明動態のなかの感染症と人類の関係から、いま大事なことは何か、持続可能な社会をいかに築いていくかを考える。

Timetable

- 13:30~14:00 — 開場・受付
- 14:00~14:30 — 開会
学長挨拶、研究所長挨拶・研究所紹介
- 14:30~15:30 — 基調講演
「With コロナ時代の羅針儀」
山本太郎(長崎大学 熱帯医学研究所)
- 15:30~15:40 — 休憩
- 15:40~16:00 — 報告_1
「日本古代の疫病と地域社会」
今津勝紀(岡山大学 文明動態学研究所)
- 16:00~16:20 — 報告_2
「ハンセン病者と近代日本」
松岡弘之(岡山大学 社会文化科学研究科)
- 16:20~17:00 — パネルディスカッション
山本太郎 × 今津勝紀 × 松岡弘之 × 松本直子
司会=中谷文美

Place

岡山大学 創立五十周年記念館(金光ホール)

詳しくは右記または下記URLからご確認ください。

URL: www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/50kinenkan02

*利用者用駐車場がございませんので、公共交通機関を利用してお越しください。大学構内に無断で駐車されますと、パーキングロックされます。



Application

[お申し込み] 締め切り:4月12日(月)

右記または下記URLからお申し込みください。

URL: forms.gle/hoWv1kmUCim8YGok6



岡山大学 文明動態学研究所(RIDC)

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1

TEL: 086-251-7442

E-mail: ridc@okayama-u.ac.jp

URL: ridc.okayama-u.ac.jp

Speakers



長崎大学
熱帯医学研究所
国際保健学分野 教授

山本太郎

YAMAMOTO Taro

1990年長崎大学医学部卒業。1995年長崎大学大学院博士課程病理学系専攻修了(博士医学)。1998年東京大学大学院医学系研究科博士課程国際保健学専攻修了(博士国際保健学)。長崎大学熱帯医学研究所助手・助教、京都大学大学院医学研究科助教、外務省国際協力局課長補佐等を務め、2007年より現職。その間に1999-2000年 JICAジンバブエ国感染症対策プロジェクト・チーフアドバイザー、2002-2003年 ハーバード大学公衆衛生大学院特別研究員(武見フェロー)、2003-2004年 コーネル大学公衆衛生大学院・客員助教授、ハイチのカボジ肉腫・日和見感染症研究所・上級研究員。また2010年のハイチ大地震、2011年の東日本大震災では、震災直後から被災地に入り救援支援活動を行う。著書に「疫病と人類」(朝日新書)2020、「抗生物質と人間——マイクロバイオームの危機」(岩波新書)2017、「失われていく、我々の内なる細菌」マーティン・J・ブレイザー著 山本太郎訳(みすず書房)2015、「感染症と文明—共生への道」(岩波書店)2011、他多数



岡山大学
文明動態学研究所
教授

今津勝紀

IMAZU Katsunori

京都大学大学院文学研究科単位取得退学。博士(文学)。鳥取女子短期大学などをへて1998年4月岡山大学文学部助教授、2021年4月から現職。専門は日本古代史。主著に、「日本古代の税制と社会」塙書房、2012年、「戸籍が語る古代の家族」吉川弘文館、2019年。



岡山大学大学院
社会文化科学研究科
講師

松岡弘之

MATSUOKA Hiroyuki

大阪市立大学大学院文学研究科単位取得退学。博士(文学)。大阪市史料調査会などをへて、2020年4月から現職。専門は日本近現代史。著書に『ハンセン病療養所と自治の歴史』みすず書房、2020年。



岡山大学
文明動態学研究所
所長

松本直子

MATSUMOTO Naoko

九州大学大学院博士課程修了。博士(文学)。日本学術会議連携会員。専門は認知考古学、ジェンダー考古学。新学術領域研究「出ユーラシア」領域代表*。主著に「認知考古学とは何か」(共編著2003)、「縄文のムラと社会」(2005)など。
*out-of-eurasia.jp



岡山大学
文明動態学研究所
教授

中谷文美

NAKATANI Ayami

オックスフォード大学大学院博士課程修了(D.Phil.)。日本学術会議連携会員。専門は文化人類学、ジェンダー論。主著に『オランダ流ワーク・ライフ・バランス』(2015)、『「女の仕事」のエスノグラフィ』(2003)、編著に『仕事の人類学』(2016)、Fashionable Traditions (2020)など。